

Rotary



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3019回 例会2024.2.15 No.1679



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

創立64周年記念例会

ソング 君が代・奉仕の理想

四つのテスト 職業・社会奉仕委員会

会長談話 山田 益会長

本日は伊那 RC 創立 64 年の記念日となります。国際ロータリー第 2600 地区 52RC の内、7 番目のクラブとして 1960 年 2 月に誕生しました。

1956 年松本 RC が最初のクラブでしたが、その後飯田、諏訪と続いて南信地区から多く誕生しました。当時中央高速道路は小牧 JCT から駒ヶ根 IC までの開通は 1975 年だったので、道路網よりかなり早くロータリー活動は進んでいきました。そして伊那青年会議所の誕生は 1968 年と聞きましたので、南信地区における地域活性化の経済活動は、活発であったと思われます。また南信地区では市町村の商工会議所、商工会を中心とした事業も多く行われていました。これらのもとになっている「商工会法」が 1960 年（昭和 35 年）、地元選出の国会議員「小川平二」先生方の尽力によるものと、私は宮田村の商工会長を務めていたとき聞きました。商工会法は地域内商工業者の経営に関する相談とその指導、経済振興をはかるための諸活動及び、社会一般の福祉の増進に資することを目的としています。商工会の基本原則は「・営利を目的としない・特定の個人や団体の利益のために活動しない」となっています。ロータリーの使命と一致するところが有ります。

そして今日、各種マスメディアに出ない日がない言葉に「SDGs」（エスディー・ジーズ）が有ります。これは 2015 年 9 月に国連総会で採択された、持続可能な開発のための 17 の国際目標です。2030 年までに達成すべきとしています。

しかし現在我々が会員となっている「国際ロータリー」は、1917 年、当時のロータリー会長アー



チ・クランプが世界で良い事をするための基金を設ける案を発表し、この構想を基に「ロータリー財団」が創設されました。そしてその使命は「ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困を無くすることを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」としています。そして人々により良い生活をもたらす、地域社会のために活動するロータリー会員を支援するために「ロータリー補助金」を設けました。7 つの重点分野が有ります。①平和の構築と紛争予防②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥地域社会の経済発展⑦環境となっていますが、これらは現在の「SDGs」と同じだと思います。

国際ロータリーは、100 年も早く活動を始めていたことは本当に素晴らしいと思います。

伊那ロータリーも今後も 20 年、30 年と長く続くことを願っています。

幹事報告 別紙をご覧ください

出席報告 会員数 57 名 内出席免除者 19 名
出席者 25 名 事前メーキャップ 0 名 出席率 59.50%

ニコニコボックス

- ・山田 益 64 周年創立記念例会です。
- ・中山一郎 今年初の例会出席です。
- ・八木沢真 弊社初の上伊那以外での事業所となる、上諏訪駅前にアルプス食堂がオープンできました。来月松本駅前もオープン予定です。
- ・飯島松一 弥生のキャリア教育授業にご協力いただき、ありがとうございました。

ガバナー補佐ご挨拶 池田幸平ガバナー補佐

昨年の 10 月 22 日には、皆様の大変なご協力を頂きまして、ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶活動のための古着 DE ワクチンを無事、成功裏に終えることが出来ました。改めて心から感謝申し上げます。

伊那 RC が率先して口火を切っ
て頂き、辰野、伊那中央の 3 クラ
ブが主催し、駒ヶ根、箕輪 RC に
ご協力頂き 5 クラブが一体とな
って実施できたことは、大変意義
があったと思います。先日のガバ
ナー補佐の会議でも、他クラブと
の連帯感が生まれて良かったとの声が多くあり
ました。



結果として 1,037 キット、5,000 回分以上のワ
クチンの世界へ届けることが出来ました。上伊那
グループは 160 キットの古着を集めました。エン
ドポリオ T シャツは 1,060 枚購入されました。
さて今各ロータリークラブは会員増強に頭を悩
ませているのが実態だと思います。

このポリオ根絶活動が、新聞やテレビで映し出
され公共イメージを向上させ、大きなインパクト
を与えたことは確かだと思います。この活動が広
く認知され、ロータリーが理解されれば、会員増
強にもつながると思います。

RI は、ロータリーのあらゆる活動において、
「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI) を
受容し、行動で示すべきであると謳っています。
D は Diversity 多様性です (年齢、人種、能力、
宗教、文化、性別、職業、ジェンダー)
E は Equity 公平性です。(エクイティ)
I はインクルージョン (包摂 異なる意見や立場、
文化、価値観などを受け入れ調和を図る)

ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると
感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブ
の環境づくりに力を注いでいます。→SDGs

以上で私の話は終わりですが、最後にお願いで
す! 3 月 10 日に開催される IM に是非ご参加く
ださい。大いに楽しんで親睦を深める集いとしま
いと思います。よろしくお願い致します。ありが
うございました。

第 64 期ロータリー財団寄付認証者発表

メジャードナー 中川博司 (17 回)
MPHF (6 回) 山田 益
(5 回) 神山公秀・中山一郎
(3 回) 三澤清美
PHF 原田和愛・増田 清・鈴木正比古
ロータリー財団寄付額
ポリオプラス寄付金 \$ 1,315.44
平和センター寄付金 \$ 188.16
毎年 1 万円寄付金 \$ 2,147.52
個人年次寄付金 \$ 5,341.30
個人年次寄付金(全員) \$ 751.52
合 計 \$ 9,743.94

第 64 期米山記念奨学会寄付認証者発表

米山功労者マルチプル
(8 回) 藤澤秀敬 (4 回) 清水紀光
米山功労者

(1 回) 山崎秀亮・城取健太
準米山功労法人 (合) 青山
米山記念奨学会寄付
普通寄付(クラブ寄付) 165,000 円
特別寄付 500,000 円
合 計 665,000 円



第 45 回伊那ロータリー顕彰受賞者発表

阿部恵子様

〈活動内容〉

昭和 59 年から 40 年間にわたり、伊那地区の小中
学生の卓球指導をされ、年間 150 回以上各種大会
へ生徒を引率して来られました。

〈顕彰理由〉

多くの卓球選手を高校、大学、一般社会人選手と
して送り出され、上伊那地域の卓球競技の発展
に、大いに貢献されました。

〈受賞者ご挨拶〉

この度は伊那 RC
の顕彰をいただき、
大変びっくりする
と同時に本当にう
れしく、感謝申し上
げます。ありがとう
ございました。



先程ご紹介いた
だきましたが、子供
たちが伊那で卓球を
したいという希望が
ございまして、昭和
59 年に主人が伊那
小の体育クラブを
立ち上げました。そ
の時に、青少年の健
全育成のために少
しでもお手伝いが
できればと思い、私
も一緒にやって参
りました。

クラブの中では私は裏方ですので、このよう
な賞をいただきましたことに実はとても恐縮して
います。本当にありがとうございました。

ボランティアとして週 3 回の夜の練習と各種
大会の引率等、大変なことも沢山ありました。
子供たちが一生懸命頑張って成長していく姿
を見ることはとても楽しいことです。その結果、お
陰様で県大会においても上位に入賞できるよう
になり、また、全国大会にも県の代表として毎年
出場できるようになりました。

その伊那少年卓球クラブは今年 40 周年となり
ます。私もこれから一生懸命、子供たちと楽し
んで卓球を続けて参りたいな、と思っております。

本日はどうもありがとうございました。